

# 2021 年度 日本ポーラログラフ学会 「志方国際メダル」および「志方メダル」選考結果報告

選考委員会 委員長 前田 耕治

志方メダルは、2つのカテゴリーに分類され、本会規程によって、

1. 電気化学測定法、電気化学反応、電気化学分析法、その他の電気化学関連領域において顕著な業績を上げ、世界的に高く評価されている国内外の研究者に「志方国際メダル」を、
2. 若手会員(受賞年の4月1日の年齢が45歳まで、女性会員については、受賞年の4月1日現在で48歳以下)で、将来の発展が期待できる顕著な研究業績を収めた者に、研究奨励賞として「志方メダル」を、

授与することと定められている。

本規程に基づき、本年度推薦・申請のあった者に対して、5名の選考委員からなる選考委員会は慎重に審議した結果以下のように決定した。なお、選考委員に推薦者が含まれないこと、また、選考要領における選考における利害関係の排除に関する対応の申し合わせに従い、利害関係がある選考委員は当該候補者の審査から外れることを事前に確認している。

## 1. 志方国際メダル

以下の1名を受賞者とする

受賞者氏名(所属)：

大塚 利行 氏(神戸大学大学院理学研究科)

受賞業績：

油水界面イオン移動の標準ギブズエネルギーへの非ボルン型アプローチ

受賞理由：

大塚氏は、日本における液液界面イオン移動ボルタンメトリーのパイオニアの一人として、イオン移動の電気化学、イオン溶媒和の研究に携わった。そのなかで発見した非ボルン型溶媒和というユニークな理論は無機イオンから有機イオンまでの広範なイオン種の溶媒間移行エネルギーを計算、予測することを可能にした。原著論文や総説、著書も多数あり、一般的に電気分析化学への学術的貢献は大きい。また、国際誌、海外著作物、国際学会・シンポジウムへの発表も活発であり、国際共同研究もあり、国際メダルにふさわしい。また、会長、編集理事を含めて、本会への長年の貢献も著しい。以上より、大塚氏は志方国際メダルの受賞にふさわしいものと判断した。

## 2. 志方メダル

受賞者なし

以 上